

# 議 会 だ よ り

清水町

2018年(平成30年)5月

No.153

■発行 北海道清水町議会  
 ■編集 広報広聴常任委員会  
 〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目  
 ☎62-3317 FAX62-5160

## 文化センター大規模改修や債務の繰上償還など 新年度予算総額約131億円

第2回  
 例会  
 定例

平成30年第2回定例会は、3月6日から20日までの15日間を会期として開かれました。

新年度予算をはじめ、補正予算、条例の制定・一部改正・廃止、計画の変更、町道の路線廃止・認定など、全件を原案のとおり可決しました。また、12・13日の一般質問では、6人の議員が登壇し、16項目にわたり理事者へ質問を行いました。

### 新年度予算(一般会計・3特別会計・2事業会計)と予算関連条例(一部改正2件・廃止1件)については、定例会初日の3月6日に平成30年度予算審査特別委員会(奥秋康子委員長)を設置し、審査を付託しました。

理事者及び係長職以上の関係職員に出席を求め、予算計上理由の説明を受けて質疑等を行うもので、3月14日から16日までの間、審査が行われました。(予算審査特別委員会の様子は議会ホームページの「過去の議会議中継」からご覧になれます。)

結果、特別委員会及び定例会最終日の新年度予算と予算関連条例の採決では、全会一致で原案どおり可決しました。

平成30年度の予算総額は131億1689万5千円(前年度比0・1%増)で、そのうち一般会計の予算額は94億1千万円、前年と比較して3億7千万円(4・1%)増

の大型予算となつています。一般会計の主な増額要因としては、役場庁舎非常用発電機設置事業の7063万円、保育所建設事業の3303万円、清掃センターリサイクル施設化事業の1804万円、国営土地改良事業負担金償還事業の6億1405万円、町営住宅建設事業の5022万円、文化センター大規模改修事業の6億578万円などが挙げられます。平成28年台風10号災害に係る復旧事業についても引き続き予算が計上されています。(詳しい予算の内容については広報しみず4月号をご覧ください。)

### 平成30年度一般会計予算に対する 討論(要約)

【賛成討論】西山輝和 議員

文化センター大規模改修事業については、町民の利用を第一に考えた整備により、今まで以上の有効活用を期待する。国営土地改良事業負担金については、3年の繰上償還で2億円を超える利子負担の軽減が見込まれており、評価するものである。防災・子育て・教育・医療の施策を着実に進めるとともに、産業基盤の維持や経済活性化への配慮が見受けられ、将来の財政推計を基に、直面する行政課題に積極的に対応した予算であると考え賛成する。

### 広報広聴 常任委員会を 新たに設置

定例会初日の3月6日に、広報広聴常任委員会に関する規定を追加する議案委員会条例の一部改正について、原紀夫議員から議案の提出があり、審議の結果、原案のとおり可決しました。

より多くの町民に読んでもらえる分かりやすい議会広報を目指し、今後の紙面構成や内容の充実については広報広聴常任委員会にて協議していきま

す。委員定数は6名で、町民への広聴活動、議会ホームページ、インターネット中継に関する事項も広報広聴常任委員会の所管になります。選任された委員は次のとおりです。(任期は平成31年1月26日まで)

広報広聴常任委員会	
委員長	北村 光明
副委員長	大谷 昭宣
委員	佐藤 幸一 原 紀夫 田 邦男 口 里 中 島



大規模な耐震改修工事や施設設備の更新等を行う清水町文化センター(昭和55年開館)